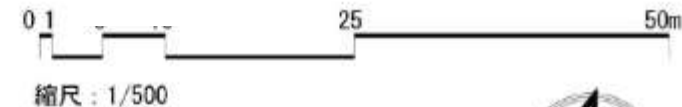
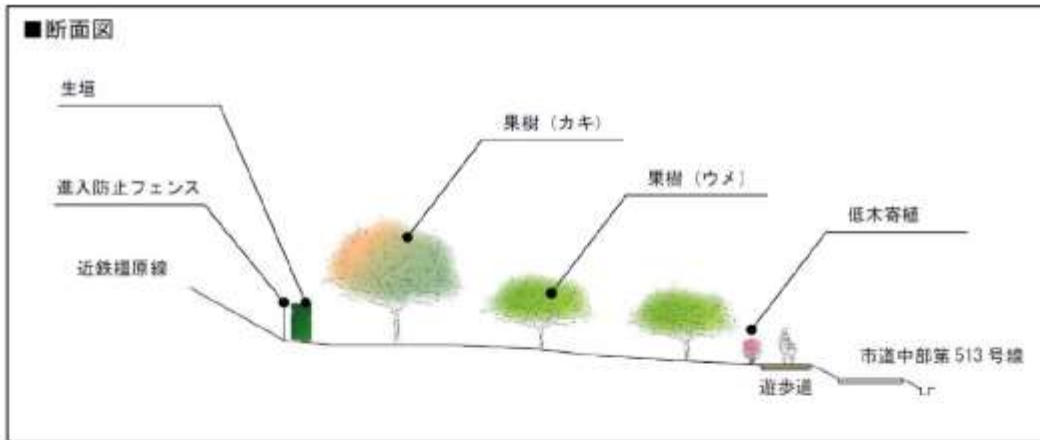


垂仁天皇陵周辺

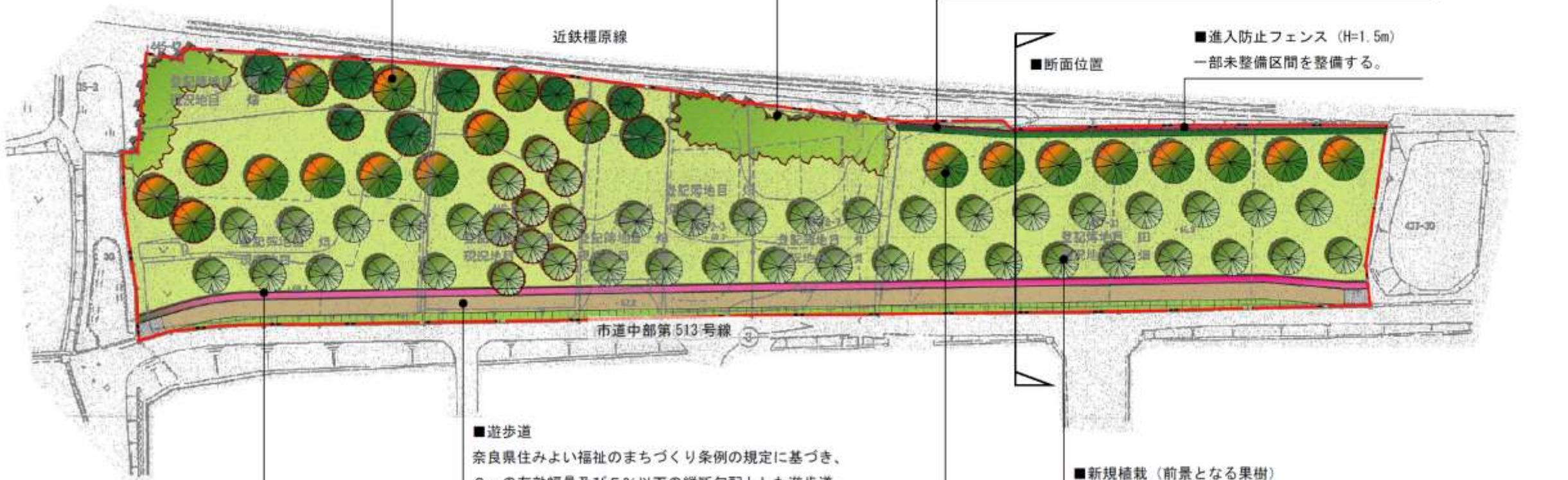


■竹林
風景を分断している竹林は道路側を一部伐採する。

■既存果樹
既存果樹(ウメ、カキ等)は極力保全する。

■生垣
近鉄橿原線への進入防止フェンス(H=1.5m)を隠すため生垣を設ける。
美しい花をつけるサザンカを候補樹種とする。

■進入防止フェンス(H=1.5m)
一部未整備区間を整備する。



■新規植栽(前景となる果樹)
北側と連続したイメージとなるよう、既存樹と同じ果樹(ウメ)を植栽。
道路側でもあり、春の花も美しいウメを候補樹種とし、ボリュームのある
風景となるよう、千鳥2列配置とする。

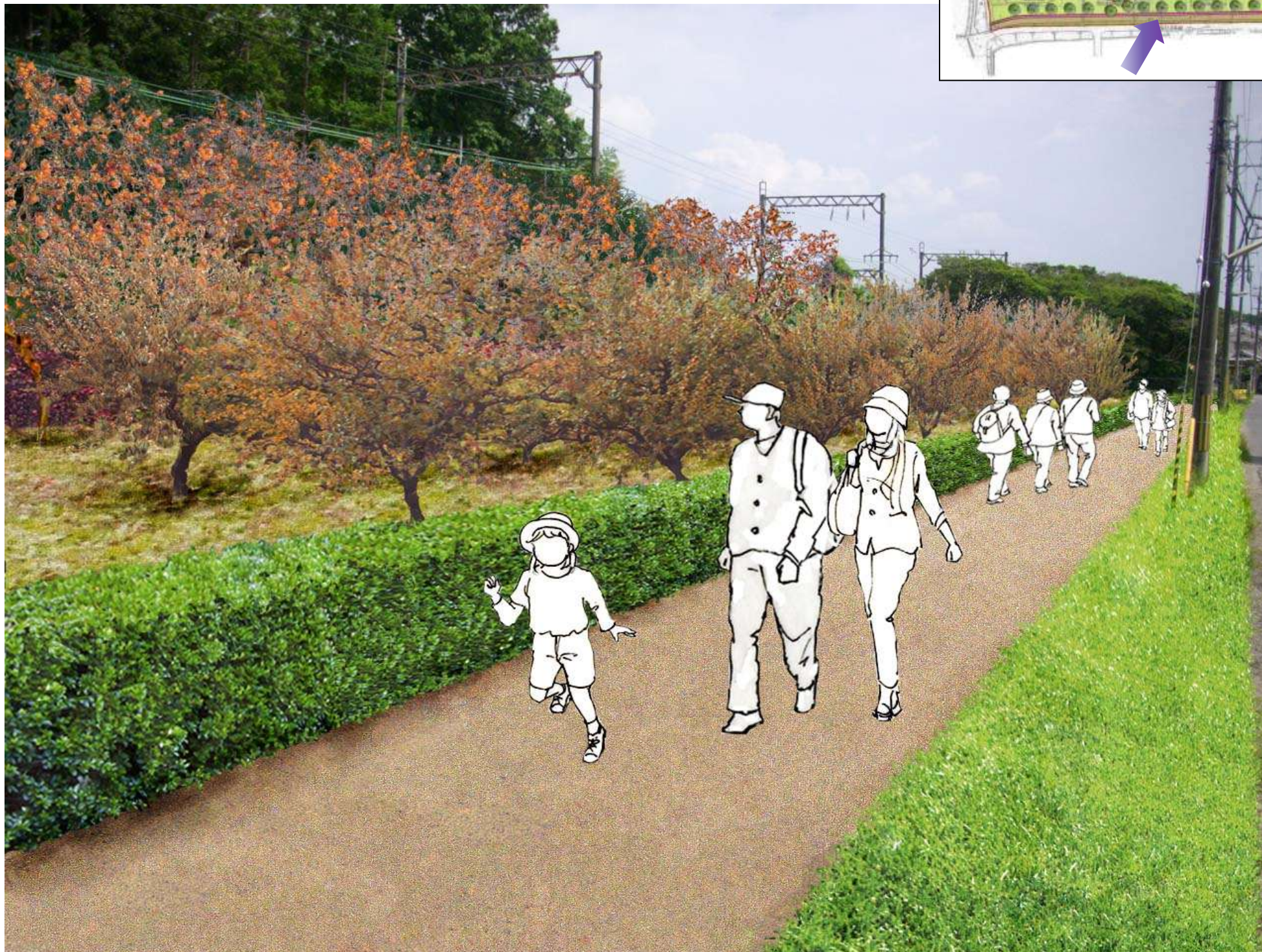
■新規植栽(背景となる果樹)
北側と連続したイメージとなるよう、既存樹と同じ果樹(カキ)を植栽。
前面のウメが落葉し見通しが良くなったところ、奥になるカキの実が秋の風景を彩る。

■遊歩道
奈良県住みよい福祉のまちづくり条例の規定に基づき、
2mの有効幅員及び5%以下の縦断勾配とした遊歩道。
既存の土地の標高に合わせ、道路より高い位置に通し、
南北端で道路に接続する構造とする。

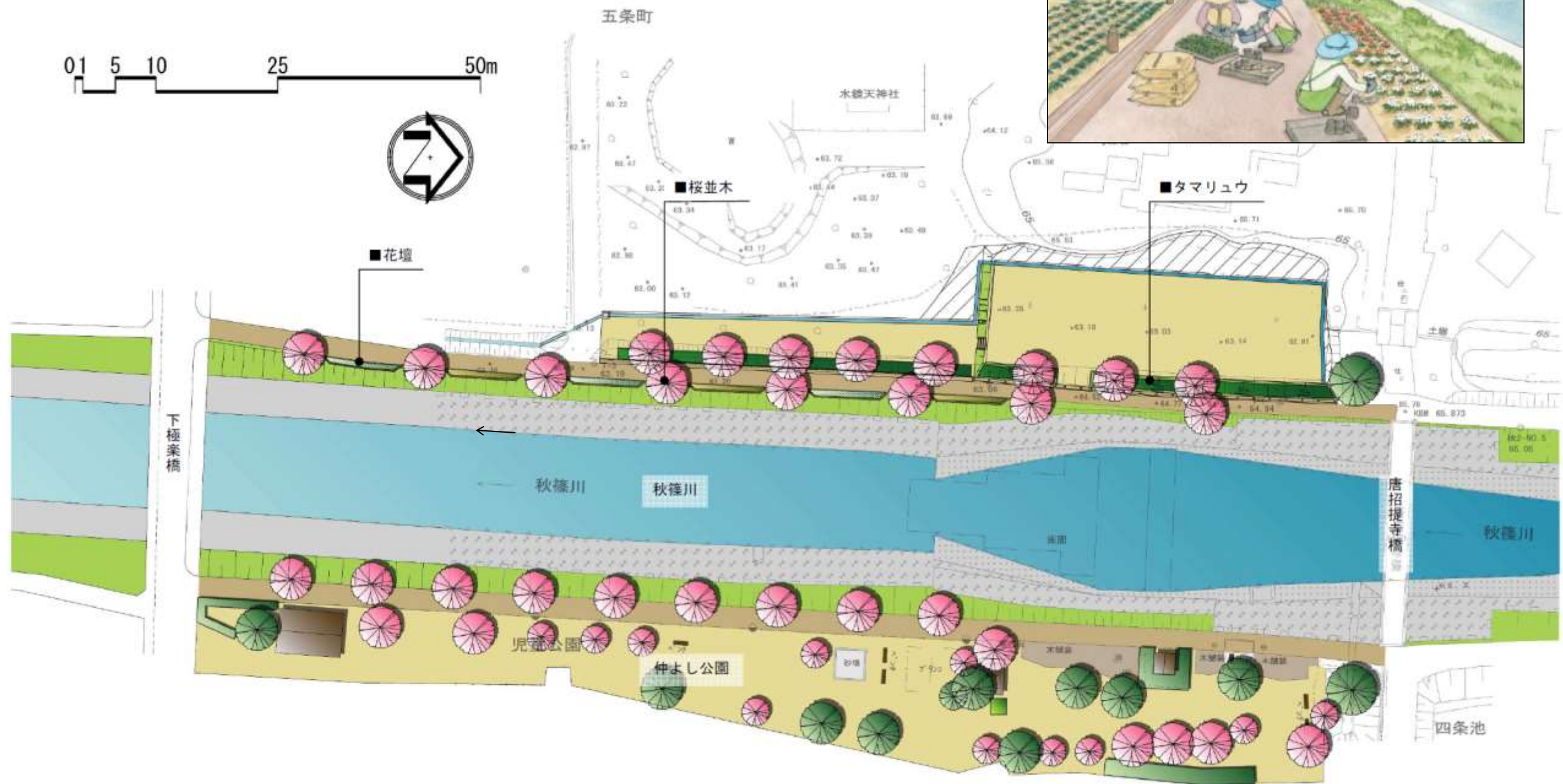
■低木
果樹畑に一般の歩行者が立ち入らないようにするための低木。
維持管理が比較的容易な常緑低木から、ウメよりも遅く花の咲く
サツキツツジもしくはヒラドツツジを候補樹種とする。



垂仁天皇陵周辺



秋篠川周辺



秋篠川周辺

